

# 獨協医科大学病院だより

— Dokkyo University School of Medicine Hospital News —



写真：東側（ヘリポート）から見た獨協医科大学病院（本館・新館・センター棟）



日本医療機能評価機構 日本医療機能評価機構認定病院



平成17年(2005年)

1月



第7号

## ◆ 主な内容 ◆

|   |   |
|---|---|
| 新年のご挨拶(病院長 稲葉憲之).....                   | 2 |
| 本日のカルテ(脳卒中について).....                    | 3 |
| PETセンター建設工事及びPETについて.....               | 4 |
| 新潟中越地震災害看護ボランティアに参加して.....              | 5 |
| CRT栃木放送・病気と健康のワンポイントアドバイス「教えてドクター」..... | 5 |
| 院内学級発表会の模様.....                         | 6 |
| クリスマス会の模様(子ども医療センター).....               | 7 |
| Healthy Life(トクホって何?).....              | 8 |



## 本年も頑張りましょう - 新年のご挨拶

大学病院長 稲葉 憲之

皆様、新年おめでとうございます。昨年4月に病院長を拝命して早くも8ヶ月が過ぎました。この間内外で凄まじい天災に見舞われましたが、幸い当院ではこれといった事故もなく先ず先ず無事に経過致しております。偏に職員各位のご努力の賜と感謝申し上げます。一方、病院の内情・問題点についても徐々にではありますが表面化しつつあることも確かであります。本年も皆様のご理解とご協力を戴き、大学病院発展の為に微力ではありますが全力を尽くしたいと存じます。

さて、昨年度から新臨床研修制度が発足致しました。予想された如く研修医の「大学離れ」はかなりのものでありました。特に地方国立大学付属病院における卒業生の大学離れは深刻でありました。卒業生が残らなければ、当然他大学からの応募者もありません。その結果地方大学病院は医師不足となり、関連病院からの派遣医師の呼び戻し現象が大きな社会問題としてNHKに採り上げられました。一方、東京に代表される「大都市」には研修医が集中し、所謂「マッチング」で撥ねられる者も出て参りました。何とも羨ましくも奇妙な現象ですが、為政者が本来推奨されるべき本制度の根幹において大都市と地方都市に財政的逆差別を設け、批判に耳を閉じた結果でありましょう。本臨床研修制度を成功に導くためにはまだまだ関係各位の多大な努力が必要です。幸い、獨協医科大学病院では約68%のマッチング率に踏み止まり、本年は94%の高率に達する見込みです。国を批判するだけでは展望は開けません。また、競争原理が医療を変えることも最早否定しがたい事実であります。何はともあれ、当大学病院は「自助努力」によりこの医療制度変革期を乗り越えたいと念じております。

その自助努力の象徴がセンター棟（C棟）の完成です。センター棟は副院長時代からの懸案でありましたが、昨年8月に竣工祭、祝賀会を無事挙げる事が出来ました。センター棟には臨床研修センターの他、とちぎ子ども医療センター、救命救急センター（病室）、小児科・産科婦人科外来、さらには機能・設備を一新したレストランが設置され、既に活動を始めております。更に特記すべきは救命救急センターの充実です。次年度より医師も順次4～8名増員し、最新設備にも予算処置を設けました。

一昨年に日本医療機能評価機構の審査（ニューバージョン）を一切の保留無しでパスして以来初めての「医療監視」を昨年11月に受けました。一昨年は共同指導が「監査」に発展し、どうなる事かとやきもき致しましたが、昨年「監査」を無事乗り越える事が出来ました。副院長として直接の担当でしたので大変な緊張を覚えました。「試験」は幾つになっても嫌なもので、今回も担当の三好副院長共々緊張の連続でしたが、何と「お褒めの言葉」まで戴く講評成績で過去の苦労は無駄では無かったとの思いを強くしました。寺野前病院長以来、医療安全に徹底してきた姿勢・努力が認められたものと思います。

大学病院の近未来についても若干触れておきましょう。病院運営の基本方針は病院理念の遵守にあります。強いて挙げれば医療安全管理の徹底、医療環境の整備、患者様へのサービスの三矢が重要です。臨床研修センターの整備はその一環ですが、引き続き外来リニューアルやセンター化構想の実現を進めて参ります。後者については先ず病棟・病室再編成を実行していただき、次いで各位のご意見を戴きながら無理のない自然な形でセンター化の実現を図りたいと存じます。衆知を結集することが肝要で、拙速は避けるべきでありましょう。本年4月にはPETセンターが稼働し、ガンマナイフも導入されます。透析センターの稼働能力は現在の倍増となります。また、松岡学科長のご努力でレジデント制度も実現致します。病院機能評価受審で明らかになった問題点については既に当該委員会にて検討がなされ、新たに病院経営評価受審検討委員会も立ち上げました。珪肺労災病院移譲も視野に入れ、専門家の意見に耳を傾けながら、より良き病院運営を図りたいと思います。

当大学病院は、栃木県のみならず北関東医療の中心として活躍する基盤を着々と築きつつあるのではと自負致しております。前にも増して益々のご指導・ご協力をお願い申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

## 本日のカルテ



### 『脳卒中について』



神経内科 竹川 英宏

ここ数年、長嶋監督など著名人が脳卒中で倒れる報道をよく耳にします。近年、脳卒中、特に脳梗塞治療の進歩には目を見張るものがあり、心臓病の“ハート・アタック”と同様“ブレイン・アタック”を標語に世界中で脳卒中をより早く治療し、できたら治してしまおう、という動きがあります。そこで今回は脳卒中についてお話ししたいと思います。

#### Q 脳卒中とは？

脳卒中は、脳の血管が詰まる“脳梗塞”と血管が切れて出血する“脳出血”に分類されます。さらに脳梗塞は動脈硬化が原因の“脳血栓”と心臓病で起こる“心原性塞栓”に分かれ、脳出血は主として高血圧による“脳内出血”と、動脈瘤が原因で起こる“くも膜下出血”に分類されます。



#### Q どんな症状がでたら脳卒中の可能性ありますか？

“ブレイン・アタック”では、①半身の運動・感覚障害（力が入らない・しびれる）、②意識障害と言語障害（しゃべりづらい）③突然の視力障害 ④歩行障害・めまい・ふらつき ⑤激しい頭痛の5つを挙げています。

#### Q 脳卒中はどんな時間におきやすいですか？

午前6時からお昼頃が全体の約40%を占めております。また、土曜日・日曜日の週末に多く発症するといわれています。

#### Q どんな人が脳卒中になりやすいですか？

特殊な例を除き、50歳以上では発病する危険性を常に考慮する必要があり、10歳ごとに危険率は約2倍増加します。男性に多く、家系内に脳卒中の方がいらっしゃるとさらに約2倍増加します。生活習慣病としては高血圧が最も深く関係しており、収縮期血圧が160mmHg以上で約5倍の危険があると言われております。また、コレステロールや血糖値が高い方、不整脈などの心臓病がある方、喫煙、過度の飲酒も脳卒中を発病しやすいことが知られております。

#### Q どんなことに注意すれば脳卒中になりやすいですか？

食生活では塩分制限（1日6～10g）、カロリー制限（1日2000Kcal以内）、青魚を摂取し、1日5種類以上の野菜・果物を取ることも大切です。また適度な運動も重要で、1日30分程度の早歩きやジョギングなどが効果的です。その他、禁煙・禁酒、水分摂取も効果的です。

脳卒中は治療の早期開始が重要であります。“おかしいな”と感じたら、すぐに病院を受診するよう心がけてください。

## 今春オープンを目指しPETセンター建設中

現在、平成17年4月オープン予定のPETセンターを大学病院正面南側に建設中です。患者様には大変ご迷惑をおかけしております。

前回号に引き続き、PET検査についてご紹介します。



### Q1 PET検査の特長は？

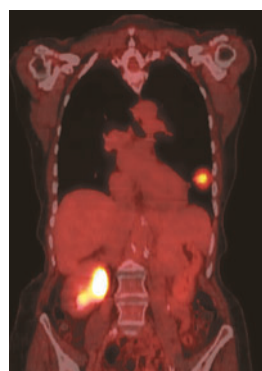
見つけにくいとされていた小さな「がん」の早期発見が可能です。また一回の検査で全身の状態を診ることができます。

さらに、PET検査とCT検査の画像を重ね合わせることで、正確な位置が分かります。また、良性・悪性の鑑別も可能です。

そのほか、アルツハイマー型痴呆症・脳血管障害・てんかんの病巣・脳腫瘍の発見にも役立ちます。



PET画像



PET+CT画像

### Q2 PET検査はどんな「がん」でも発見できるのですか？

PET検査は「がん」の病気診断には極めて有効であり、治療方針の決定にとっても役立つ優れたものです。しかし、これさえ受ければ完璧というわけではありません。臓器や部位によってPET検査だけでは識別できない「がん」も存在します。

したがって、他の最先端機器の検査法を併用して最良の診断を受けることが重要です。

### Q3 PET検査は苦しくありませんか？

初めに薬剤を静脈注射した後、薬剤が全身に分布するまで約1時間リラックスしてお待ちいただきます。

その後、30～60分程度寝台に寝ていただければ検査は終了します。

(注射から検査終了まで約2時間かかります)

### Q4 被ばくや副作用の心配はありませんか？

薬剤の副作用は非常に少ないと考えられています。また、放射線被ばくについては胃透視検査1回とほぼ同じ線量です。

しかし、少ない被ばく線量でも妊産婦や授乳中の女性の検査は避けるべきです。

## 新潟中越地震災害看護ボランティアに参加して

日本看護協会並びに栃木県看護協会の要請を受け、11月3日から11月5日の3日間、新潟中越地震災害看護ボランティアに参加させていただきました。

当院から看護師3名でチーム編成し、被災地に向かいました。何が必要なのか、どんな事をしなければならぬのかも把握できない状態でした。

派遣先は、自然ダムができた山古志村のすぐ下の魚沼市（旧堀之内町）でした。被災中心から若干外れてはいるものの、ブルーシートに覆われている家屋が点在し、山肌や田畑があちらこちら崩れており震災の怖さを目の当たりにしました。本震から10日経過し、すでに山梨県・神奈川県の方々が先陣をきっており、そこに合流する形で支援させていただきました。そこで、被災者の多くが生活の場としている堀之内体育館と壊滅した老人保健施設入所者が非難している社会福祉センターに別れ、任務につきました。

体育館では、支援物資などの供給や被災者の健康管理として病院への受診補助、血圧の管理等を行いました。センターでは3交代勤務で食事介助・排泄介助を行いました。自衛隊の方々の手伝いも行い、テレビなどでも放映されていた仮設入浴場も使用させていただきました。また、11月4日午前には震度6という余震もあり、実体験し改めて震災の恐ろしさを痛感いたしました。被災者と顔見知りとなり、気軽に名前を呼んでいただけるようになった頃、大田原日赤病院の方と交代となり、「もう少し何かお手伝いしたい」と後ろ髪を引かれる思いで派遣期間が終了となりました。

すでに被災から2ヶ月以上経ち、仮設住宅への移住も進み、復興へ向け前進しておりますが、これから雪深い冬を迎え被災地の皆様の今後の心身の健康をお祈りいたします。

(看護部 鈴木佳世子)



## 『教えてドクター』 CRT栃木放送 (ラジオ)

毎週金曜日 (15:30~15:45) 放送中・県央1530KHz・県南1062KHz・県北864KHz

連携医療部

平成16年度より、地元ラジオ番組CRT栃木放送の電波に乗せて『教えてドクター』を放送しています。番組のコーナーで(毎週金曜日午後3時30分~3時45分)、いろいろな疾患をテーマに取り上げ、視聴者から寄せられた質問に対して本院の医師が分かりやすく解説するという企画になっております。

是非、チャンネルを合わせお聞きになって下さい。

放送は右記の予定になっています。

| 1月  | 部署     | タイトル        | 医師名   |
|-----|--------|-------------|-------|
| 28日 | 健康管理科  | 人間ドック異常者の対応 | 大類 方巳 |
| 2月  |        |             |       |
| 4日  | 耳鼻・気食科 | スギ花粉症について 1 | 馬場廣太郎 |
| 11日 | "      | スギ花粉症について 2 | "     |
| 18日 | 心血管肺内科 | エコノミー症候群 1  | 原澤 寛  |
| 25日 | "      | エコノミー症候群 2  | "     |

### ● ● ● ● 第3回 ひばり分教室 学習発表会 ● ● ● ●

平成16年4月院内学級は、栃木養護学校から週4日教員が訪問する形態から、毎日朝から教員が院内学級にいるという形態に変わり、新しく「ひばり分教室」としてスタートしました。授業時間や教員数が増え、学期に一度しかできなかった音楽や図工も毎週できるようになりました。8月には、「とちぎ子ども医療センター」がオープンし、その病棟内にこれまでの3倍以上の広さで大変眺めの良い教室に移転することができました。



そして10月29日、これまでは病院の大会議室をお借りして行っていた学習発表会を新しい教室で行うことができました。

一人ひとり各教科で学習したことを発表し、全体の発表としては合唱や合奏を行いました。小学生5名、中学生2名の子どもたちは、発表会が近づくにしがって自分から朝や午後に合奏の練習をしたり、プロジェクターを使って発表の練習をしたがったりと大変意欲的に取り組んでいました。

中学生2名の司会のもと会が進められて行きました。大勢のお客さんを前に多少緊張気味の子もたちでしたが、各自が練習で注意されたことなどを自分で気を付けながら発表していました。

病棟の方々の配慮により、全員が動きやすい状態で参加できるようになっていましたが、一人の子は途中で気分が悪くなってしまいました。しかし、今回は発表会場の教室が病棟内ということで、その子はすぐに病室に行って休むことができ、病棟の方がすぐに対処してくださいました。その後、本人の希望もあり教室に戻って自分の発表をすることができました。全員がそれぞれの持つ力を十分に発揮できた発表会でした。

また、今回は学習したことを発表するほかに、保護者の方や病棟の方々に感謝の気持ちを伝えるということもありました。普段なかなか照れて言えないことを、発表の原稿や手紙として書くことにしました。初めは「ええ、やだ。恥ずかしくて書きたくない。」と言っていた子も、書き始めると無言になり、自分の気持ちを表現しようと集中して取り組んでいました。手紙の中には「いつもやさしくしてくれてありがとうございます。ぼくは、せんせいもかんごさんも大好きです。これからもよろしくお願いします。」とあったり、学習発表会後の感想文に「最後の手紙のところでお母さんを見ると泣いていたので、ぼくも泣きそうになった。」と書かれていたりしました。子ども達の気持ちが周囲の方々に伝わったのではないかと思います。

最後は、会場全員で合唱しました。ひばり分教室では、毎日朝の会で歌を歌っています。毎月子ども達の話し合いによって今月の歌が決まります。10月はゆずの「栄光の架け橋」に決まり、発表会でも歌うことにしました。いつも教員より子ども達の方が早く歌詞を覚えてしまいます。発表会当日も堂々と前を向き、「悲しみや苦しみの先にそれぞれの光がある さあ行こう 振り返らず走り出せばいい、希望に満ちた空へ…」と大きな口を開けて元気に歌う姿が大変印象的でした。

参観者にアンケートを記入して頂きました。すべてのアンケートに励ましとお褒めの言葉があり、子ども達も大喜びでした。

(栃木県立栃木養護学校 担当教員 近藤 珠穂)

## 子ども医療センター クリスマス会 2004年



平成16年度の小児科は、目覚しい変化がありました。今までの小児病棟から、とちぎ子ども医療センターへと名称も変更し、病棟・外来とも大きく様変わりして、大変広くなり入院する子どもたちも多くなりました。子ども医療センターのスタッフは、この広い病棟で、子どもたちを相手に駆け回っております。



そんな中、12月21日（火）に、病院の皆様の協力のもと、恒例のクリスマス会を行いました。サンタクロースは医療安全対策課の小平さん、ドラえもんに扮したのは情報処理室の磯山さん、そして小児科に実習にきている医学部の学生らがサンタクロースやトナカイになり、大変にぎやかなクリスマス会でした。

今年は、地元馬頭町のいわむらかずおさん（自然と子どもをテーマにした絵本作家）をお招きして、絵本の読み語りをして頂きました。読み語り初めての経験だった子どもたちは、座席をズルズル少しずつ前に行って、身を乗り出すように真剣な眼差しで聞いていました。子どもたち



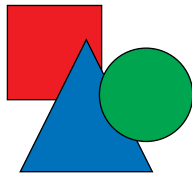
の感想は、「リスの話がすごかったよー」「面白かったー」「元気になったら遊びに行こう」「リスに会えるかなー」手のひらに乗っているうさぎを見て「ちっちゃい」など大好評。いわむらさん来年も来てくれるかなー！最後にいわむらさんからそれぞれの「ねずみ」の名前が入ったトランプがプレゼントされ、みんな大喜びでした。

また、看護部、事務部、センター棟に従事している医療スタッフの寄付で購入したプレゼントをサンタさんが一人ひとりの子どもに手渡ししました。これにはおとうさんおかあさん達も大変感謝していらっしゃいました。

今年も皆さんの力を終結して思い出に残るクリスマス会を無事終わることが出来ました。誌面をお借りしてお礼申し上げます。有難うございました。

(看護部 石川美知子)

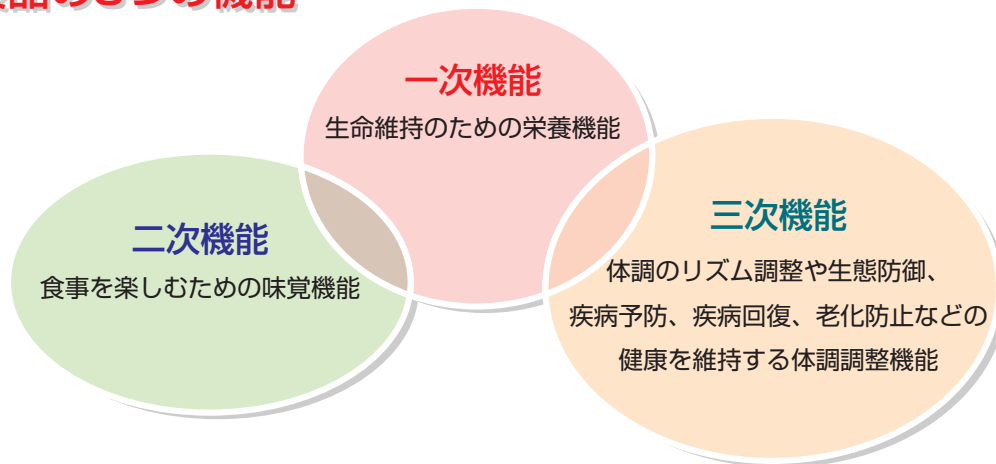




# トクホ(特定保健用食品)って何?

● このような表示見たことありますか? ●

## 1 食品の3つの機能



## 2 《トクホ》の定義

トクホは、食品のもつこの三次機能(体調調節)に注目し、長年のアンバランスな食生活によって忍び寄る生活習慣の『危険要因(リスク)の低減・除去』に役立つように工夫された食品で、健康に対してどのような機能を持っているかを表示することを厚生労働大臣が許可した食品です。他の食品と違うのは、体の生理的機能などに影響を与える成分を含んでいて、血圧・血中のコレステロールなどを正常に保つことを助けたり、おなかの調子を整えるのに役立つなどの特定の保健の効果が科学的に証明されていることです。

## 3 トクホの利用方法

**食生活の基本は主食、主菜、副菜をそろえ、  
いろいろな食品をバランスよく食べることです。**

健康が気になる人や健康診断などを受けて生活習慣病のことが気になっている人が健康の保持・増進に役立つことを期待して食べる食品です。病気の治療等に使用できるものではありません。一度にたくさん食べたり、それだけを食べ過ぎるような偏った食べ方をするのはよくありません。

《トクホ》のパッケージには、保健の用途や摂取目安量摂取方法、栄養成分などが表示されています。

 獨協医科大学病院だより第7号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111(代表) FAX 0282-86-4775

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日/平成17年1月1日

編集・発行/獨協医科大学病院広報誌委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷